

ともいき

第 53 号

発行日 令和 8 年 4 月 1 日
発行 社会福祉法人 友愛会
〒990-2317 山形市みはらしの丘四丁目15番地3
TEL (023) 687-1016
FAX (023) 688-8018
URL <https://yuuai-kai.or.jp/>
印刷 ココニ印刷 (山形福祉工場)



ともいき
立場が違えば
思いが違う
違う思いを
話し合い
違う立場で
手を握る

令和8年度

目標と今後の展開

理事長 荒井 与志久

当法人友愛会は、「ともいき」の理念のもとに平成3年の創立から35年目を迎えました。また、障がい者支援施設「南陽の里」は本年11月に開所20周年という節目を迎えます。これまで歩みが続けてこられましたのは、県および関係行政機関、地域の皆様、利用者・家族の皆様、そして日々現場を支えてくださっている役員一人ひとりの努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

現在、日本は人口減少と急速な高齢化が同時に進む大きな転換期にあります。高齢者の割合が増える一方で、支える側の人口は減少し、医療・福祉・介護の現場では人員不足やサービス需要の増加といった課題が深刻になってきています。障がい福祉や子育て支援の分野においても、支援ニーズは多様化し、より柔軟で専門的な対応が求められる時代となりました。

また、物価の上昇や自然災害の頻発、感染症への備えなど、社会を取り巻く環境は大きく変化しており、社会福祉事業の運営にも様々な影響を及ぼしています。このような中でも、地域の中で誰もが安心して暮らし続けられる社会を支えていくことが、社会福祉法人に求められる重要な役割であると考えております。

当法人では、こうした時代の変化に対応しながらも、理念に基づいた安定したサービスを提供し続けるため、本年度もいくつかの重点目標を掲げて取り組んでまいります。業務の効率化だけでなく、利用者の皆様へのサービス

向上にもつながる重要な取り組みとして、法人全体でDXを進めてまいります。昨年度に引き続き、DX推進チームを中心に各事業所の課題を整理し、介護の質を大切にしながら記録や管理業務の効率化や福祉機器（ロボット・ロボット等）の活用を進めてまいります。これにより、職員が利用者の皆様と向き合う時間をより確保し、安心してサービスを受けていただける環境づくりにつなげてまいります。

第二に、地域とのつながりの強化です。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の生活様式や人と人との関わり方は大きく変化しました。コロナ後の新たな福祉の在り方が求められています。私たちが各事業所が地域福祉の拠点として、これまで以上に地域の皆様との交流を深め、連携を強化してまいります。地域から寄せられる声を大切に、新たなサービスの創出や既存事業の改善につなげることで、事業の多角化や多機能化を目指し、地域に根ざした法人としての役割を果たしていきたいと考えております。また、同時に地域のセーフティネットとして皆様に寄り添い、くらしの安心と安全に取り組みたいと思っております。また、地域にある様々な社会資源を最大限に活用し、一つの活動や一つの事業所だけでなく、一つの活動や一つの事業所を通じて法人全体として広がりを持った関わりを築いてまいります。点として始まった活動を、やがて線へ、そして面へと発展させることで、地域の皆様とより深くつながり、支え合える関係づくりを推進してまいります。

第三に、人材育成の充実です。質の高い支援を継続するためには、職員一人ひとりが安心して能力を発揮できる環境づくりが不可欠です。多様な人材が活躍できる教育体制を整え、統一された技術の習得と専門性の向上を図ることで、利用者により寄り添った支援を実現できる人材の育成に努めてまいります。また、支援機関として特定技能外国人材の採用手続きや定着、育成にも積極的に取り組み、支援の担い手を広げることで、地域全体の人員不足の解消にも貢献していきたいと考えております。多様な背景を持つ職員が互いに理解し支え合うことで、利用者の皆様により安心していただける環境づくりにつなげるものと期待しております。

そのほかにも、物価高騰に対応した適切なコスト管理、災害時にも事業を継続するためのBCP（事業継続計画）の実効性向上、権利擁護の徹底など、利用者の皆様の安心と安全を守るための取り組みを着実に進めてまいります。

不確実な時代ではありますが、私たちは「人と人とのつながり」を何よりも大切に、地域の中で信頼される法人であり続けたいと考えております。小さな取り組みの積み重ねが、やがて大きな安心につながると信じ、今後とも一歩一歩着実に前進してまいります。今後とも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年度 施設運営の基本目標

【デジタル化の推進】

・DX委員会を中心に、施設・事業所は中長期工程表に沿ってICTの活用を進め、業務の効率化とケアの質の向上を図る

【地域貢献の取り組み】

・社会資源を最大限に活用し、点（一つの活動や事業所）にとどまらず、継続性のある取り組みにより、線や面（法人としての広がり）で関わり合いを持ち、地域とつながる活動を推進する

【コスト管理】

・これまでのコスト削減の取り組みを検証し、効果的事例を継続するとともに、情報の集積と共有を進め、計画性のある予算管理に努めると共に、職員のコスト意識の向上を図る

【BCPの取り組み】

・事業継続計画（BCP）に基づく職員研修や訓練を定期的に実施し、常に最適化を図り、職員の意識向上につなげる

【権利擁護（虐待防止）】

・研修等を通じて職員の人権意識の向上と適切な支援の徹底を図ると共に、虐待のグレーゾーンについて判断の理解を深める

【人材育成】

・介護技術の見直し、統一を図り「利用者」に寄り添い、伴走する「支援」ができるプロとしての育成を目指し、支援の質を高める

【持続可能社会】

・これまでの取り組みを考察、ターゲットを再確認し、身近な事の実践を積み重ねながら、今後のステップアップに繋げる

地域の働く世代を支える

「介護・福祉支援に関する包括連携協定」を締結いたしました！

2月5日に当法人と株式会社荘内銀行様との間で介護・福祉支援に関する包括連携協定を締結いたしました。この協定は、地域における介護・福祉支援の充実と、働く世代が安心して働き続けられる環境づくりを目的としております。介護・福祉に関する支援が必要となる企業の従業員の皆様、気軽に相談できる支援窓口を友愛会に設置いたしました。相談を受けた内容は、専門職員が状況を判断し、相談者に合った回答をさせていただきます。これにより、制度への事前の準備や心構えなどに役立つと考えられます。この取り組みは全国的にも珍しく、山形県内で初めての試みとなります。従業員の介護離職の防止につながるようお手伝いをさせていただきます。社会問題の一助となるよう貢献していきたいと思っております。



包括連携協定 締結



荘内銀行 山形専務 友愛会 荒井理事長

安全運転を心掛けていきましょう！

安全運転講習会を実施しました

令和7年10月より、友愛会法人車両の任意保険会社が山形県火災共済協同組合様になりました。安全運転講習もされているということで、このたび当法人でも、各事業所にて安全運転講習会を実施いたしました。

直近2年間の福祉施設における交通事故事例や、事故を起こした場合の責任、死亡事故の傾向などについて学びました。年齢割合や発生状況など、予想とは異なる点も多く、不注意による事故が多いことを改めて実感しました。

また、福祉施設車両特有の事故事例やドライブレコーダー映像を通して、運転者の認識のずれが事故につながることを学ぶ機会となりました。今後も、利用者の皆さんや職員の皆さんの安全を守るため、交通安全への意識向上に取り組んでいきたいと思っております。



コストコで購入した3種類のケーキをご用意しました。チョコレートケーキやチーズケーキ、いちごショートなど、色とりどりの種類からお好みのケーキを1つ選んでいただくと、「どれにしようか迷っちゃうね」等、自分で選択することから会話が弾みました。自分で選択したケーキを堪能すると「濃厚で美味しい」「いちごが華やかだね」とあり。心も体も大満足なティータイムになりました。

ちょっと前の活動になりますが…
12月の喫茶といえば…
クリスマスケーキっ！！



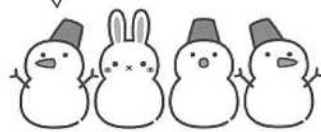
☆～山形の冬の食べ物といえば…
1/12 みんな大好き あじまんっ！！☆



☆写真は、HPより
拝借しております☆



あんこ VS カスタード
みなさんは
どちらがお好み???



地元名物の「あじまん」をご用意しました。「今年もこの季節がきたねっ！」と、皆さんの顔がほころびます(*´艸`)
生地の中にあんこやカスタードがぎっしり詰まった温かいあじまんを頬張ると「甘くて美味しい」や「懐かしい味だ」と会話が弾み、会場は温かな活気に包まれました。地元の味を囲み、心もお腹も満たされる素敵な時間を過ごすことができました。
利用者の皆様からも「大満足」！来年も企画していきたいと思っています。



～出前交流～
活動状況報告～



1/15、本沢小学校5年生の皆さんへ、出前交流に行ってきました。
福祉機器（移動式リフト・スライディングボード）と車椅子を持参し、実際に体験して「福祉」に対する心の扉を開け、1歩踏み込んでいただけたら嬉しいな～♪、福祉に携わる仕事の楽しさを感じてほしいな～♪と、思いながら楽しく交流してきました。今後、進路に悩むことがあったら、この日の事を思い出してほしいな～と願っております。

～すげさわ地区～
地域貢献活動～

before



after



before



after



冬の雪道は・・・特に・・・
気を付けて運転してねっ
交通安全っ！第一っ！



すげさわの丘脇の道路で近道になるため、職員や公用車の他近隣住民の利用も多い道です。一方で、メインの道路でないため除雪の頻度が少ないうえに日当たりも悪く、加えて勾配がきついため公用車のスタックなどが発生していました。施設のみならず、近隣住民の皆様のためにも除雪を行いました。
～当日夕方にはきれいに溶けました～

☆出前食事☆ 司 寿司さん 美味しいお寿司っ！

～利用者の皆様からも好評でした～
毎年、ありがとうございました♡



2月の出前食事は、皆さんお待ちかねの「お寿司」でした！握りや、ちらし、ネギトロ丼等、ご希望のお寿司を前に、ワクワクと心が弾む様子が伺えました。「お寿司好き！」「やっぱり上手いな～」と、皆さん味わいながら食べていました。ネタも様々で「ホタテが一番好き。」「やっぱりマグロだな。」等、お気に入りのネタを教えてくださいながら、笑顔で過ごされました。やっぱりお寿司は最高ですね！

手洗い週間&
手洗い手エツカー

ゆうあいくらぶ だんご下げ



キレイに
なったかな？



五穀豊穡
飾りがきれいだね
お団子おいしそう...



やっばり
鬼怖いー！

節分



鬼をやっつけるぞ！
鬼は外ー！福は内！



風船ごっこまで
大きくなるかな？



Donald・マクドナルドさん
によるポケットマジックの
楽しかったね！

今年はたくさん雪が降りました。お家で雪遊びを楽しむお友達や、スキー場に出かけたお友達もいたようです。暖かい部屋でゆっくりとはいかず、やむを得ず雪かきをした人も多かったのではないのでしょうか...

そして冬の行事はどれもわくわくドキドキ。鬼が来たり、Donaldさんが来たりと、思い出に残るイベントがたくさんありました。

遠く感じた春も、すぐそこまで来ています。暖かい日差しの中をみんなで散歩したいと思います。

ケーキ贈呈式

12月24日、マックスバリュ南陽店様より、毎年恒例のクリスマスケーキを贈呈していただきました。心のこもった贈り物に、利用者の皆様からは笑顔があふれました。甘いケーキとともに、心温まるひとときを過ごすことができました。毎年の温かいご支援に、深く感謝申し上げます。



クリスマス会

12月にクリスマス会を開催しました。職員による余興が始まると、会場には笑い声が広がり、利用者の皆様も手拍子をしたり、リズムに合わせて一緒に踊ったりと楽しそうな様子が見られました。

続くプレゼント配布や大抽選会では、発表のたびに拍手や歓声が起こるなど、会場の盛り上がりは最高潮に。笑顔があふれ、自然と会話も弾んでいました。

また、退職する職員からの挨拶には、名残惜しそうに耳を傾ける姿も見られ、会場が温かな空気に包まれる場面もありました。笑いあり、感動ありの心に残るクリスマス会となりました。

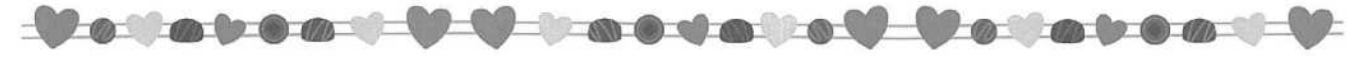


節分

2月の節分に合わせて、日中活動の時間に豆まき行事を行いました。職員が鬼に扮し、利用者の皆様には鬼や鬼型のものに向かって豆ボールを投げるゲームを楽しんでいただきました。

会場には笑顔と笑い声があふれ、「鬼は外、福は内」と声をかけながら、にこやかに参加される様子が見られました。季節の行事を通して、楽しく体を動かす機会となりました。

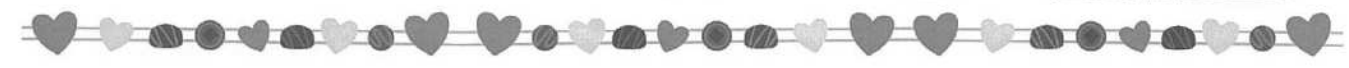
節分で邪気を払い、春分の日へと向かう中で春の訪れを感じる楽しいひとときとなりました。



バレンタイン

2月の日中活動の一環として、バレンタインにちなんだ行事を行いました。今回は職員が各丁目を回り、手作りのパンプディングパフェをお配りしました。カップに盛り付けられたパフェは、色とりどりのトッピングが目を引く華やかな仕上がりで、見た目にも楽しい一品となりました。利用者の皆様はパフェを見て笑顔を見せ、「おいしそう」と喜ばれていました。甘い味わいを楽しみながら、和やかな時間を過ごされました。

今後も季節感のある行事を取り入れ、皆様に楽しんでいただける活動を行ってまいります。



南陽の里だより

福